

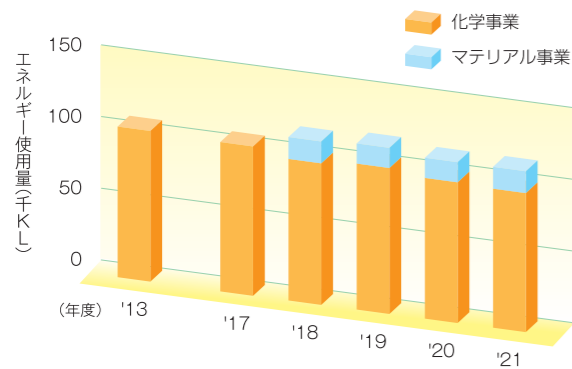
地球温暖化対策(省エネルギー)

地球温暖化対策を目的として2021年 総理大臣は、2030年に向けた温室効果ガスの削減目標について、2013年度に比べて46%削減することを目指すことを表明し「さらに50%の高みに向けて挑戦を続けていく」と述べました。当社も省エネを一層推進するため優先的な投資施策をとっております。

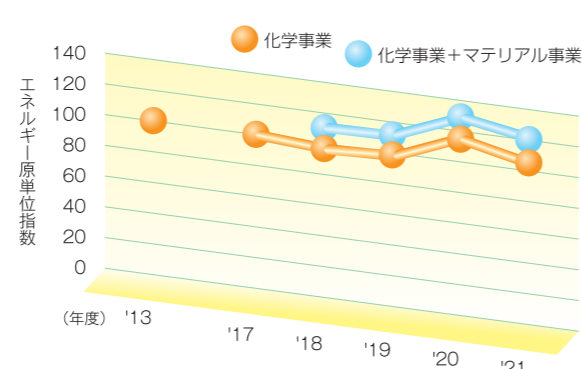
各事業所では、熱回収・効率向上、生産調整による省エネや、事務所等での節電等の省エネ活動に取り組んできました。

当社は、省エネ法における特定荷主として、物流面におけるエネルギー使用量削減に努めています。海上輸送へのシフトとともにケミカルタンカーのロット大型化、トラックの積載率向上による「輸送回数の低減」、スワップ促進による「輸送距離の短縮」等の継続的な検討を進めております。

エネルギー使用量(原油換算)の推移

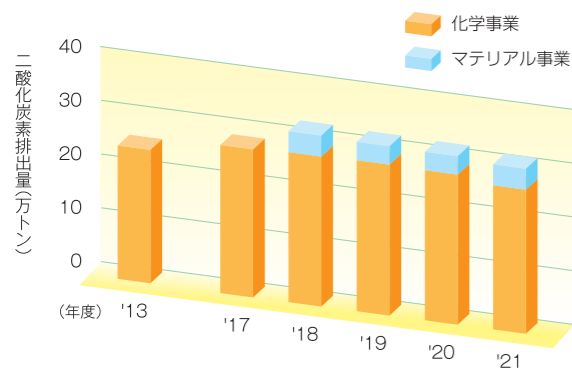


エネルギー原単位指数^{*}の推移



^{*}エネルギー原単位指数とは当社の製品生産量(千トン)あたりの2013年のエネルギー使用量(原油換算KL)を100とした指数のことです。

二酸化炭素排出量の推移(売電を含む)



^{*}エネルギー起源二酸化炭素を対象として推移を示しています。

2021年度地球温暖化ガス排出量 (単位:万トン)

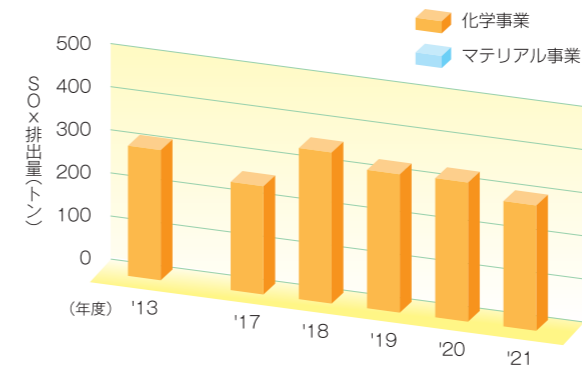
由来	エネルギー起源	非エネルギー起源	特定荷主
排出量	26 (化学事業) 4 (マテリアル事業)	0	1

^{*}特定荷主は日鉄ケミカル&マテリアル株式会社分

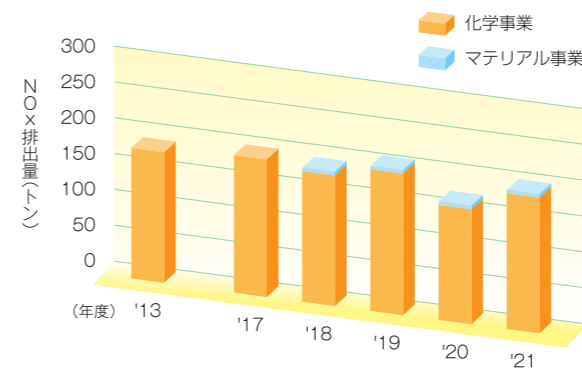
大気環境

当社では、法並びに地方自治体との協定を遵守するため1970年代から設備対策を実施し、大気汚染物質の排出量管理に努めております。

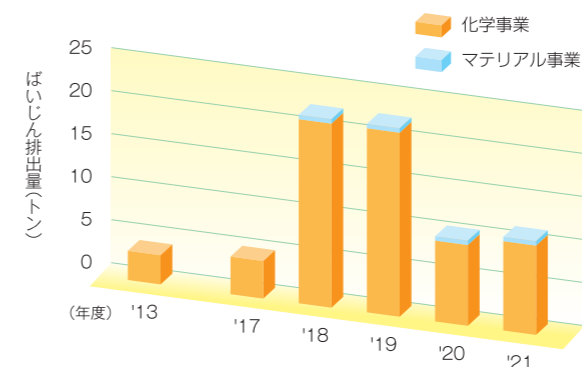
SOx(硫黄酸化物)排出量の推移



NOx(窒素酸化物)排出量の推移



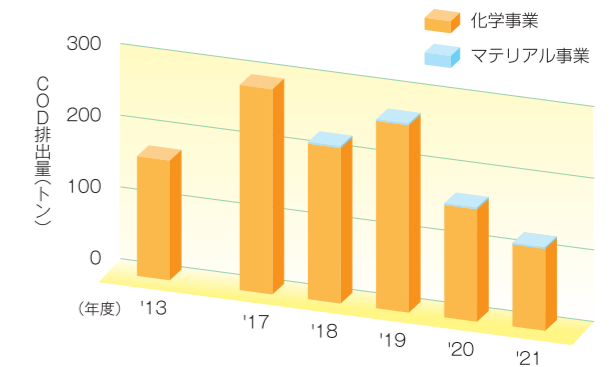
ばいじん排出量の推移



水質環境

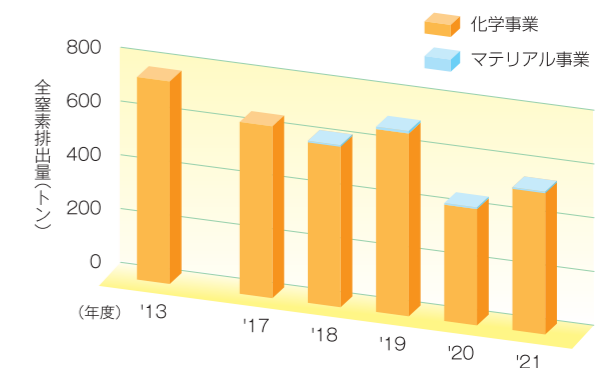
当社では、法並びに地方自治体との協定を遵守するため、工場のプロセス排水は浄化処理してから河川・海域等に排出し、水質汚濁の防止に努めております。

COD(化学的酸素要求量)排出量の推移

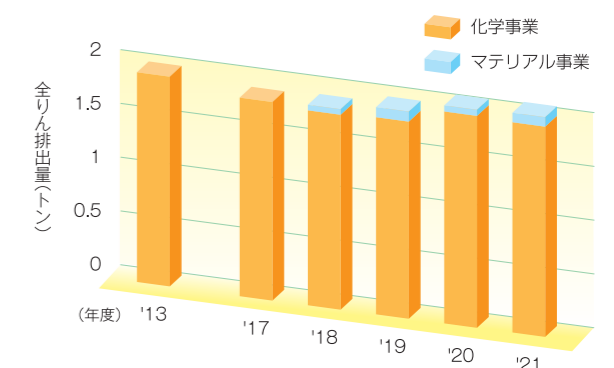


^{*}COD: 化学的酸素要求量 (Chemical Oxygen Demand) のことであり、有機物を酸化剤で酸化するときに消費される酸素量です。海域や河川の有機物による汚濁状況の指標に用いられています。

全窒素排出量の推移(1999年度よりデータ把握)



全りん排出量の推移(1999年度よりデータ把握)



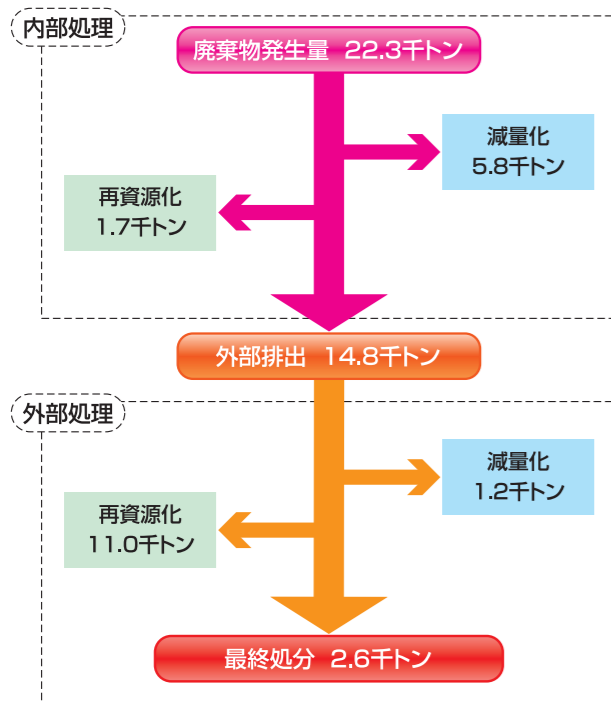
環境保全への取り組み

産業廃棄物の適正処理の推進

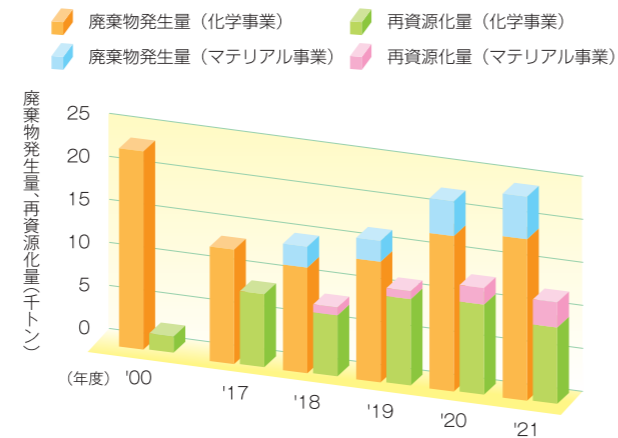
当社は、法令に基づき、産業廃棄物の適正な処理を行っております。

グループ会社を含めて、電子マニフェスト化を推進し、管理強化を図っております。また、産業廃棄物処理委託先の現地確認を行い、適正な処理を行っていることを確認しております。

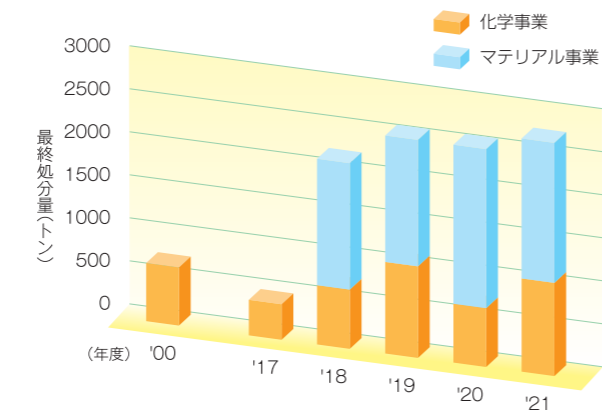
2021年度の廃棄物処理フロー



廃棄物発生量、再資源化量の推移



最終処分量の推移



VOCの削減

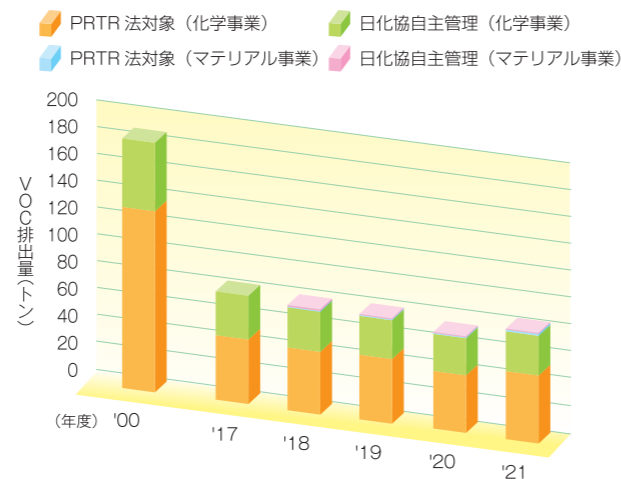
粒子状物質(SPM)および光化学オキシダントの原因物質の一つとされ、人の健康への影響が懸念されています。

当社は、日本化学工業協会のVOC排出量自主削減計画に参画しており、2000年度対比で30%の削減を目標とした取り組みを行ってきました。

VOC排出量は、2000年度対比で約60%の削減となっております。

※PRTR法: 特定化学物質の環境への排出量の把握等及び管理の改善の促進に関する法律

VOC排出量の推移



PRTR

当社は、化学業界の自主的取り組みとして、日本化学工業協会が実施しているPRTR調査に1995年度から参加し、化学物質排出量の調査並びに排出量削減に努めてきました。従来からPRTR法指定物質、とりわけベンゼンの削減に重点的に取り組んでおり、適切に管理を行うことで2000年の基準年度に対して低位で推移しております。

今後も化学物質の排出量管理を適切に行い、対象化学物質の排出量削減に取り組んでいきます。

※PRTR (Pollutant Release and Transfer Register)とは環境汚染物質移動登録のことであり、有害性のある化学物質がどのくらい環境中に排出されたかを把握・集計し、公表していく仕組みです。日本では化学物質管理促進法の制定により2001年から法定354物質、2010年度からは法改正により462物質について排出移動量の把握、国への届出が義務付けられています。

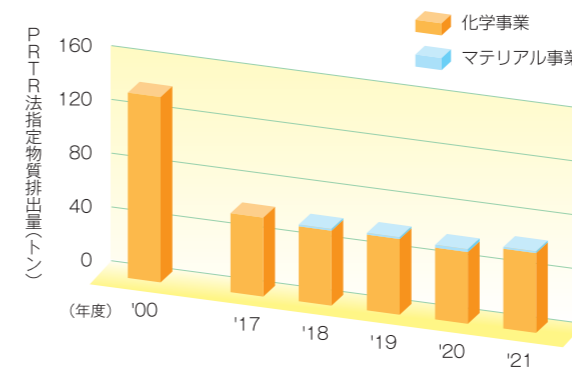


対策例: オフロガス処理設備(広畑製造所)

2021年度PRTR法指定物質の排出量(上位10物質, 単位:トン)

No.	政令指定番号	PRTR法指定物質名	大気排出量	水域排出量	土壌域排出量	排出量合計
1	302	ナフタレン	10.66	0.00	0.00	10.66
2	400	ベンゼン	9.63	0.00	0.00	9.63
3	300	トルエン	8.37	0.00	0.00	8.37
4	71	塩化第二鉄	0.00	7.96	0.00	7.96
5	213	N,N-ジメチルアセトアミド	4.77	0.00	0.00	4.77
6	80	キシレン	3.03	0.00	0.00	3.03
7	15	アセナフテン	2.86	0.00	0.00	2.86
8	240	スチレン	1.98	0.00	0.00	1.98
9	349	フェノール	0.92	0.54	0.00	1.46
10	32	アントラセン	1.00	0.00	0.00	1.00

PRTR法指定物質の排出量推移



ベンゼン排出量の推移

